

政策シート

(政策名) 火災予防体制の充実、火災による被害の軽減
(予算費目名) 火災予防推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

市民及び事業所が火災予防の意識を持ち、又はこれを実践することにより、火災等の被害を軽減し、市民が安心・安全に暮らせる都市を実現する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	162,884
	決算	
	事業費 (A)	9,484
	人件費 (B)	153,400
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
特定防火対象物における自動火災報知設備の違反率	%	0.7	目標	1.4
			実績	
市民の普及啓発参加人数	万人	6.8	目標	5.9
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	火災予防指導事業		○		127,980	6,180	17.0			1.0	
2	火災予防啓発事業		○		34,904	3,304	4.0	1.0			
計					162,884	9,484	21.0	1.0	0.0	1.0	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 火災予防指導事業

◇事業目的・事業対象

店舗、工場、ガソリンスタンドその他の事業所等を対象に実施する火災予防に関する査察、建築許可等への同意、危険物の製造所等の許認可等を通じて、事業所等における火災予防の実践の推進及び法令遵守の徹底を図るとともに、火災の原因及び損害調査の結果を火災予防指導・啓発に反映することにより、全市的な火災予防の推進を図る。

◇事業の概要

○立入検査等指導事業

消防法令、条例に規定される火災予防に関する基準に基づき、建築許可等の同意、消防用設備等の設置指導及び検査、危険物の製造所等の許認可、事業所等への査察を通じて火災予防の実践を推進するとともに、消防法令、条例に適合しない事業所等に対しては、是正指導を行い、重大な違反は行政処分等により法令遵守の徹底を図る。また、同意、許認可、査察、違反是正等の体制を確立し、これらに必要な知識及び技術を有した人材の育成を行う。

○火災調査活動事業

消防法に基づく消防機関の義務として、知り得た全ての火災の原因の究明及び損害調査に取り組み、類似火災の防止のため、その結果を火災予防指導・啓発事業に反映するとともに、製品火災からの消費者保護、火災調査書類の情報公開請求等の社会的要請に対応した火災調査方法を構築する。また、火災調査体制の確立のため、これに必要な知識及び技術を有する人材の育成を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和23年度	-	一般会計	自治事務(法令義務) 自治事務(その他)	消防法、浜松市火災予防条例	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,180
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	6,180
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		121,800
人工	正規	17.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
特定防火対象物における自動火災報知設備の違反率(%)	-	1.4			0.7

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 火災予防啓発事業

◇事業目的・事業対象

消防に対する市民の理解を深めるとともに、防災意識の高揚を図り、市民が生活の場において火災予防を実践することを推進するために広報活動を行う。また、任意に結成している民間防火組織及び防火協力団体の育成及び活動支援を通じて、地域及び事業所間における防火・防災活動を促進する。

◇事業の概要

○民間防火団体活動事業

民間防火組織である女性防災クラブ、幼少年消防クラブと防火協力団体である浜松市防災協会に対して、これらの組織又は団体が地域又は事業所間における防火・防災活動のリーダー的な役割を担うように育成及び活動支援を行う。

○火災予防思想普及啓発事業

火災予防を中心とする消防広報のイベント事業として、各消防署が主体となり、119ふれあいフェア等の開催、市民団体への表彰、民間防火団体や市民との協働により、火災予防思想の啓発に取り組む。また、小学校4年生を対象にしたスクール119や高齢者に接する民生委員等に防火講習を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和23年度	-	一般会計	自治事務(その他)		-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,304
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	3,304
	一般財源	
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		31,600
人工	正規	4.0
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市民の普及啓発参加人数(万人)	-	5.9			6.8

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み